

商労文教委員会会議記録（第3号）

令和5年10月 3日

福島県議会

1 日時

令和5年10月 3日（火曜）

午前 11時 開議

午前 11時 6分 散会

2 場所

商労文教委員会室

3 会議に付した事件

別添「議案付託表」及び「請願調書」（第1号及び第2号添付）のとおり

4 出席委員

委員長	佐藤 義憲	副委員長	渡邊 哲也
委員	渡辺 康平	委員	三村 博隆
委員	椎根 健雄	委員	佐藤 雅裕
委員	宮本 しづえ	委員	今井 久敏
委員	満山 喜一	委員	瓜生 信一郎

5 議事の経過概要

（午前 11時 開議）

佐藤義憲委員長

ただいま出席委員が定足数に達しているので、これより商労文教委員会を開く。

これより、本委員会に付託された知事提出議案8件を一括議題とする。

既に付託議案に対する質疑を終結しているので、これより議案の採決に入って異議ないか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

佐藤義憲委員長

異議ないと認め、議案の採決を行う。

初めに、知事提出議案第1号のうち本委員会所管分外7件を一括採決する。

お諮りする。

知事提出議案第1号のうち本委員会所管分、同第2号、同第4号、同第7号、同第9号、同第26号、同第27号及び同第37号のうち本委員会所管分、以上8件は、一括原案のとおり可決すべきものと決定して異議ないか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

佐藤義憲委員長

異議ないと認める。よって、知事提出議案第1号のうち本委員会所管分外7件は、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定した。

次に、本委員会に付託された議員提出議案6件を一括議題とする。

初めに、議員提出継続審査議案第206号及び同第207号、以上2件については、先日の委員会において可決、継続と意見が分かれたので、まず、継続審査について諮る。

継続審査議案第206号及び同第207号、以上2件は一括継続審査すべきものと決するに賛成の各位の起立を求める。

(賛成者起立)

佐藤義憲委員長

起立多数。よって、継続審査議案第206号外1件は、いずれも継続審査すべきものと決定した。

次に、議員提出議案第218号及び議員提出継続審査議案第202号から同第204号まで、以上4件については、先日の委員会において可決、継続と意見が分かれたので、まず継続審査について諮る。

議員提出議案第218号及び議員提出継続審査議案第202号から同第204号まで、以上4件は、一括継続審査すべきものと決するに賛成の各位の起立を求める。

(賛成者起立)

佐藤義憲委員長

起立多数。よって、議員提出議案第218号外3件は、いずれも継続審査すべきものと決定した。

次に、本委員会に付託された請願10件を一括議題とする。

初めに、継続請願72号、同81号、同124号及び同160号から同164号まで、以上8

件については、先日の委員会において採択、継続と意見が分かれたので、まず継続審査について諮る。

継続請願72号、同81号、同124号及び同160号から同164号まで、以上8件は、一括継続審査すべきものと決するに賛成の各位の起立を求める。

(賛成者起立)

佐藤義憲委員長

起立多数。よって、継続請願72号外7件は、いずれも継続審査すべきものと決定した。

次に、継続請願157号及び同158号、以上2件については、先ほど継続審査すべきと決定した議員提出継続審査議案第202号及び同第203号と関連する請願である。

お諮りする。

継続請願157号及び同158号、以上2件は、一括継続審査すべきものと決するに賛成の各位の起立を求める。

(賛成者起立)

佐藤義憲委員長

起立多数。よって、継続請願157号外1件は、いずれも継続審査すべきものと決定した。

次に、議会閉会中の継続調査事件について諮る。

- 商工業の振興について
- 観光と物産の振興について
- 雇用・労働対策について
- 教育と学習の振興について
- 地方公営企業について

以上の5件については、なお慎重に調査する必要があると認められるので、閉会中もなお継続調査することとし、この旨議長に申し出ることとして異議ないか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

佐藤義憲委員長

異議ないと認め、そのように決定する。

なお、委員長報告の作成については委員長に一任願う。

以上で、全部の議事を終了した。

ここで一言挨拶を述べる。

令和3年11月より委員長職を務めてきたが、各委員及び執行部には大変世話になり委員長職を無事終わられることを感謝する。また、渡邊哲也副委員長をはじめ、委員各位においては、終始熱心にな議論してもらい充実した委員会活動が行えたことに改めて感謝する。

この間、本県は震災・原発事故はもとより新型コロナウイルス感染症や度重なる災害の影響によって生じた様々な問題について、一日も早い経済の立て直しや回復を図るため、全力で施策を展開してきた。

執行部には、引き続き県民の声を聞き現場をよく見て今何が必要とされているかを肌で感じて今後の仕事に当たってもらいたいと思う。

我々も、未来を担う子供たちに誇れる福島県をつくるため、共に努力していく。よろしく願う。

これをもって、9月定例会における商労文教委員会を閉会する。

(午前 11時 6分 散会)